

友だち同士で合唱祭の曲を口ずさんでいる生徒を、多く見かける時期になりました。合唱についての本もあります。ぜひ利用してください。



## 1. 平成 30 年 11 月～12 月の貸出数

学年	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
11 月	102	90	62	132	41	63	490
12 月	44	69	22	76	22	58	291
今年度累計	999	583	565	835	154	457	3593

中学 1 年生が、もうすぐ 1000 冊に到達します！ 11 月～12 月の個人貸出数ランキングは、1 位 27 冊（高 2-4）、2 位 22 冊（中 1-1）、3 位 21 冊（高 3-2）、4 位 20 冊（中 2-2）、5 位 18 冊（中 2-2）、6 位 17 冊（中 1-2）、7 位 15 冊（中 1-1）です。

## 2. 水分を摂りましょう

夏ほど切実ではありませんが、冬期は空気が乾燥しており、意外と水分が不足しがちな時期です。教室には加湿器がありますが、図書室・自習室は本を置く場所なので、加湿することができません（自習室には数か所に濡らしたタオルを設置しています）。水分をこまめに摂る、マスクをするなど心がけて、快適に過ごしてください。



## 3. 花マル子ちゃんからのお願い



入試過去問への書き込みが何件か見られました。皆で使うものです。やめましょう。

ふせんを本に貼るのは、本を傷めることにつながります。棚に戻す時には、確実ににはがしてください。

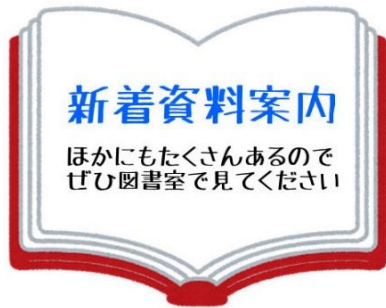
## 4. 3 月に卒業する皆さんへ

中学 3 年生、高校 3 年生の中で、3 年間の貸出数が多かった人に、貸出記録（図書室でどんな本を借りてきたか）のリストを差し上げています。今年も 2 月下旬～3 月初旬には準備ができると思います。楽しみに待っていてください。



なお、高校 3 年生は、登校日が残り少なくなっています。貸出中の本は、できるだけ早く返してください。卒業後に未返却の資料があった場合は、担任の先生からご自宅に連絡を入れてもらうことになってしまいます。





### 『戦う姫、働く少女』河野真太郎 著

堀之内出版 (367.2/Ko76)

思わずグッときてしまう、タイトルと表紙。しかも、目次を見れば『アナ雪』や『ナウシカ』など、アニメーションを引用している様子。一見、サブカル要素満載な本だが、内容はフェミニズムや女性の労働といった、現代社会の問題へと迫っていく。オカタイ本かな、と敬遠しそうになるが、この中に登場する漫画や映画を知っていると、こういう読み方ができるのかと、新しいものが見えてくるので一興。

### 『東京ステーションギャラリー 東京駅のなかの美術館』

東京ステーションギャラリー 監修 東京美術 (706.9/To46)



東京駅の中に、美術館があるのは知っていますか？ 丸の内北口改札を出てすぐに、入口があり、1988年から開館しているんです！ 駅舎の赤レンガやドームもレリーフなど、東京駅の歴史はもちろん、所蔵している美術コレクションも多数あります。ちょっと変わった美術館に行きたい人は、ここもリストに入れてみてはいかがでしょうか。

### 『おうち時間が楽しくなる 魔法の手作り生活』成瀬瞳・たまきようこ 著

KADOKAWA (590/N54)

片付け、美容、健康、SNS映えなど、特別なことをしなくても、家で簡単にできることを、かわいいイラストで紹介！ お金もかけずに、ステキなお部屋や理想のライフスタイルに大変身できちゃいます。野菜ジュースやスイーツのレシピもしっかりと掲載されているので、すぐに実践できます。



### 『けっきょく、よはく 余白を活かしたデザインレイアウトの本』

ingectar-e 著 ソシム (674.3/I54)

他人に分かりやすく説明するのに、ビジュアル化は重要です。そして、そのビジュアルは見やすければ見やすいほど、人に訴える効果があります。デザインにおいてやはり重要なのは余白です。よい例と悪い例を見比べながら、印刷物における余白の重要性を学ぶことができます。

### 『浜村渚の計算ノート』青柳碧人 著 講談社文庫 (913.6/A57/1)

世間を騒がせる凶悪事件。首謀者のもくろみは「数学の地位を向上すること」。お手上げ状態のこの難題に立ち向かうため、警視庁に連れてこられたのは、ひとりの女子中学生だった！ 人気シリーズ第1巻。続刊もまとめて入れました。



### 『ほぼ命がけ サメ図鑑』沼口麻子 著 講談社 (487.5/N99)

サメといえば、どんなことをイメージしますか？怖い、凶暴、人を食べる…いえ、そんなことはありません。サメは凶暴でもなく、人を食べたりもしません。ただの図鑑ではないこの本では、切り落としたサメの頭に噛みつかれそうになったこと、「サメ肌」を「わさびおろし」に使うこと、サメ観察のために凍死しかけたこと、シャチにストーキングされたこと、美味しいサメランキングなど、面白・仰天のエピソードや知識が紹介されています。読めばサメに興味がない人も、きっとサメが愛らしく思えてくる、そんな一冊です。

